

大阪市此花区・福島区・中央区（小学校 18 中学校 8 高校 1）

すべての学校に対面で要請内容を伝え、手渡しすることができた。

- ・インターフォンで、「元大阪市の教職員で、地元住民の〇〇と申しますが、校長先生にお願いがあって参りました」と伝えると、具体的な内容を問われたところもあるが、すぐに開錠してもらえた。

- ・名刺を渡して自己紹介した時に、夢洲カジノ住民投票署名のことを知っているか尋ねたが、残念ながら、ほとんど知らなかった。

- ・要請時の教育委員会の対応（遠足で何かあった時の責任は、実施した各学校にあるという返答など）や、チラシを見せて、PCB 駐車場、爆発現場近くを通して入場すること、メタンガスパイプの様子などを中心に伝え、子供たちの安全を第一に検討してくださいと、お願いした。

- ・5月の連休明けに行ったところが多かったので、半数以上の方が、爆発事故について知らなかった。夢洲の危険性についても・・・

- ・ほとんど校長先生が対応してくださり、玄関や廊下、校長室でじっくり話を聞いて、お茶まで出してくださったところもあった。

- ・校長先生が不在のところは、教頭先生にお願いした。両方不在の時は、後日電話で都合を聞き、再訪した。

- ・どちらも不在で、時間調整も難しいところは、事務職員の方が丁寧に対応してくださり、「必ず手渡します」と言っていただけだ。

- ・短いところで5分ぐらい、長いところでは20分以上話を聞いていただけた。

- ・一緒に要請に行った方の出身小学校では、戦時中のラジオ放送と今のテレビ放送の共通点や学童疎開での体験についても興味深そうに耳を傾けてくださった。

○現時点での返答として、以下のようなものがあった。

- ・様々な意見の一つとしてうかがっておきます。

- ・預かりますが、PTAの方が受け取られるかどうかはわかりません。

- ・他校が行って、本校が行かないということは理解が得られにくい。

- ・保護者の方、地域の方も様々な意見がある。

- ・本校としては遠足の実施は難しいと考えているが、今後の経過を注視して、判断したい。

- ・校長会でも、懸念事項やわからないことが多く皆頭を悩ませている。アンケートではとりあえず参加としているが、最終的には参加できないとなるところが多いのではないか。
- ・此花区の学校は海拔－2メートル以上のところも多く、阪神淡路大震災でも被災しており、学校は避難所になりえない。子供たちの安全な避難については、普段から懸念している。子供たちの安全を第一に考えたい。
- ・いろいろ知らせてくださってありがとうございます。